様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

平成３０年６月１２日

愛 知 県 知 事　殿

提出者

住 所　　一宮市本町 2 丁目 5 番 6 号

氏 名　　一宮市水道事業等管理者

小塚　重男

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0586-73-5486

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名 称	一宮市東部浄化センター（一宮市下水道事業）
事業場の所在 地	一宮市多加木 5 丁目 32 番 53 号
計画期　間	平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

1　事 業 の 種 類	36 ：水道業
②事業の規 模	H 29 年度　処理水量　11,346,837　㎥／年
③従業員 数	46 人内委託職員 22 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（産業廃棄物発生フローシート）のとおり

（日本工業規格　A列４番）

（第２面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

一宮市上下水道部　水道事業等管理者

↓

施設保全課長

↓

施設保全課専任課長　統括責任者

↓

下水施設管理グループ　廃棄物担当部署

↓

作業・収集・運搬・処分・再生　委託業

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1 現状	【前年度（　　年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	排出　量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
2 計画	【目標】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	排出　量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の分別に関する事項

	①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特になし
	②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特になし

（第３面）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	1 現状	【前年度（　－　年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	－	－
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	－　t	－　t
		（これまでに実施した取組） －		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	－	－
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	－　t	－　t
		（今後実施する予定の取組） －		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	1 現状	【前年度（　平成 29　年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	汚泥（脱水ケーキ）	汚泥（ばいじん）
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	－　t	－　t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	2421　t	97933 t
		（これまでに実施した取組） 含水率を低くし、重量及び体積を減らす。		
	2　画	【目標】		

		産業廃棄物の種類	汚泥（脱水ケーキ）	汚泥（ばいじん）
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	ー　t	ー　t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	7897　t	87804　t
		（今後実施する予定の取組） 含水率を低くし、重量及び体積を減らす。		

（第４面）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	1 現状	【前年度（　ー　年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	ー	ー
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	ー　t	ー　t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	ー	ー
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	ー　t	ー　t
		（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	1 現状	【前年度（　年度）実績】	別紙のとおり	
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t

			再生利用業者への処理委託量	t	t
			認定熱回収業者への処理委託量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（これまでに実施した取組）			

（第５面）

	2 計画	【目標】			別紙のとおり
		産業廃棄物の種類			
		全処理委託量		t	t
			優良認定処理業者への処理委託量	t	t
			再生利用業者への処理委託量	t	t
			認定熱回収業者への処理委託量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組）			

※事務処理欄	

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月 30 日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

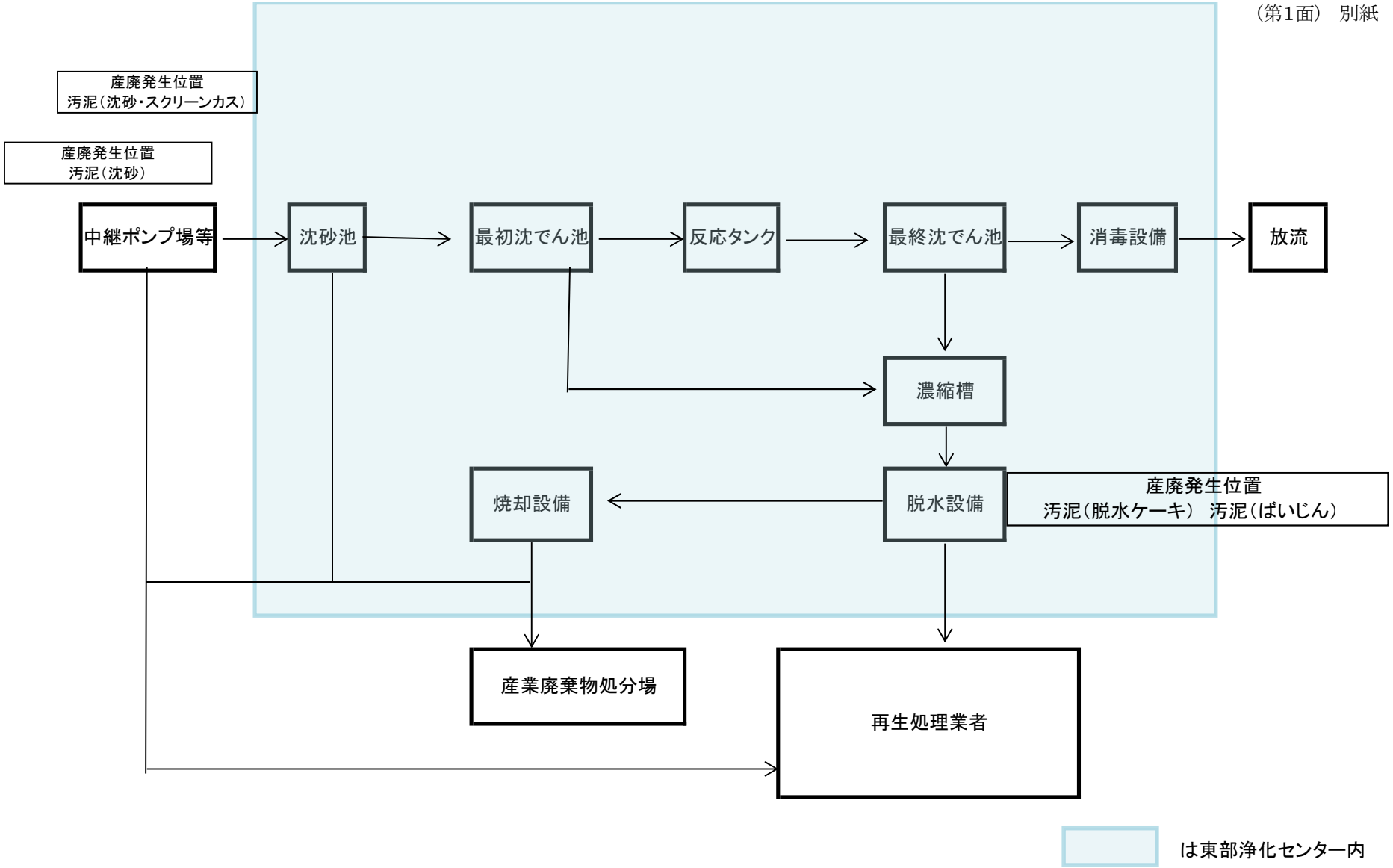
⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の 11 第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。



産業廃棄物発生フローシート

(第2面)別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①　【前年度(平成 29 年度)実績】

現状	産業廃棄物の種類	汚泥(脱水ケーキ)	汚泥(ばいじん)	汚泥(沈砂・スクリーンカス)	汚泥(沈砂)
	排出量	2,602 t	98,142 t	197 t	26 t
	(これまでに実施した取組) 汚泥(濃縮汚泥)については、焼却設備定期修理中の搬出量のため、修理期間の短縮及び水処理運転方法の工夫により、脱水ケーキ=汚泥(濃縮汚泥)搬出量を抑えた。				

②　【目標】

計画	産業廃棄物の種類	汚泥(脱水ケーキ)	汚泥(ばいじん)	汚泥(沈砂・スクリーンカス)	汚泥(沈砂)
	排出量	8,500 t	88,000 t	196 t	26 t
	(今後実施する予定の取組) 汚泥(濃縮汚泥)については、焼却設備定期修理中の搬出量のため、修理期間の短縮及び水処理運転方法の工夫により、脱水ケーキ=汚泥(濃縮汚泥)搬出量を抑える。				

(第4，5面)別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①　【前年度（　平成 29 年度）実績】

	産業廃棄物の種類	汚泥(脱水ケーキ)	汚泥(ばいじん)	汚泥(沈砂･スクリーンカス)	汚泥(沈砂)
現状	全処理委託量	181 t	209 t	197 t	26 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	209 t	197 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	181 t	0 t	0 t	26 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 特になし				

②　【目標】

	産業廃棄物の種類	汚泥(脱水ケーキ)	汚泥(ばいじん)	汚泥(沈砂･スクリーンカス)	汚泥(沈砂)
計画	全処理委託量	603 t	196 t	196 t	26 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	196 t	196 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	603 t	0 t	0 t	26 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし				